

2021 年度保健科学部入学者選抜方法（2020 年度実施）の変更（予告）

2021 年度入学者選抜から「大学入試センター試験」に代わり「大学入学共通テスト」が実施され、国語と数学に記述問題が加わり、外国語（英語）では、民間の認定試験が活用される予定です。保健科学部では各入試区分の名称を変更するとともに、学力の3要素を多面的・総合的に評価できるよう「一般選抜」の選抜方法を次の通り変更いたします。

1. 各々の入学者選抜としての特性をより明確にする観点から、各入試区分の名称を次のように変更します。
 - 「一般入試」 → 「一般選抜」
 - 「A0 入試」 → 「総合型選抜」
 - 「推薦入試」 → 「学校推薦型選抜」
 - 「社会人入試」 → 「社会人選抜」
2. 大学入学共通テストを利用し、2教科2科目を課す。必要とする教科・科目数を超えて受験している場合は、得点の高い2教科2科目を大学で採択します。ただし、「地理歴史」と「公民」の2科目選択は認めません。
理科において「理科①（基礎を付した科目）」を選択する場合は2科目を受験すること。
また、「地理歴史、公民」及び「理科②」において2科目を受験している場合には、第1解答科目の成績を採用します。
3. 外国語「英語（筆記及びリスニング）」においては、大学入学共通テストにおいて実施される英語試験を課し、民間の認定試験については、視覚障害のある受験生に対する具体的な配慮方法に各認定試験間で統一性がないことや点字又は拡大文字の過去問が入手困難であることから、合否判定に利用することを見送ります。なお、2022 年度以降については、今後の動向を踏まえ引き続き検討し、公表します。
4. 国語においては、「近代以降の文章」分野のみを利用し、記述式問題は段階別の成績表示がなされることから、その結果を段階別に点数化し、大学入学共通テストの国語の得点に加点します。
5. 数学の記述式問題については、正誤のみの判定であり、マークシート式問題と一体で出題され、記述式問題にも配点されることから、従来のマークシート式問題と同様の扱いとします。
6. 「学力の3要素」である「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価するため、生徒の特性や個性、多様な学習や活動の履歴などをより適切に評価できるよう、調査書等の提出書類を評価対象とします。

2021 年度保健科学部入学者選抜方法（2020 年度実施）の変更（予告）

共通テスト利用教科・科目			個別学力検査	共通テストの留意点	
教科	科目等	受験を要する教科・科目			
国語	「国語」（近代以降の文章）	2教科2科目	小論文 面接 書類審査	<ul style="list-style-type: none"> * 必要とする教科・科目数を超えて受験している場合は、得点の高い2教科2科目を採択します。ただし、「地理歴史」と「公民」の2科目選択は認めません。 * 「地理歴史、公民」及び「理科②」において2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用します。 * 理科において「理科①（基礎を付した科目）」を選択する場合は2科目を受験すること。 * 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校で履修した者に限ります。 * 国語は記述式問題の成績を5段階評価し《A=20点、B=15点、C=10点、D=5点、E=0点》を加点し120点満点とします。 * 国語以外の科目については、満点を120点満点に換算します。 	
数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」 「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」 「簿記会計」「情報関係基礎」				から2科目
外国語	「英語（筆記及びリスニング）」				
地理歴史	「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」				から1科目
公民	「現代社会」「政治・経済」 「倫理」「倫理、政治・経済」				
理科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 「物理」「化学」 「生物」「地学」				から2科目 又は から1科目